

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第192号	氏名	三浦史郎
学位審査委員	主査 田口 尚 副査 山下俊一 副査 兼松隆之		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、被爆者乳癌における放射線の関与を、癌遺伝子増幅と被爆との関連から解析しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 長崎腫瘍組織登録委員会病理診断データと原研の被爆者データベースとのリンケージから、被爆者乳癌患者を抽出し、非被爆者乳癌患者を対象として、HER2とC-MYCの増幅、ホルモン受容体発現、臨床病理学的因子を被爆距離との関連において解析したものであり、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、放射線影響研究所のLSSコホート以外のコホートでは、はじめて原爆放射線と被爆者乳癌罹患率との関連が示唆された。また、被爆者乳癌の初めての分子疫学的研究であり、遺伝子増幅に対して近距離被爆は有意な危険因子であることが示された。このことは、放射線被曝後障害としての遺伝子不安定性が被爆者発癌に関与していることを示唆する重要な結果であり、今後の被爆者発癌研究の進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は被爆後障害研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（博士）の学位に値するものと判断した。			